



# 奈良県感染症情報

令和3年 第34週(8月23日～8月29日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 小児科外来情報
- L452R 変異株 PCR 検査(スクリーニング検査)の実施状況

## ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	2.76	(2.32)	➡	➡	↗	↑
2	RS ウイルス感染症	1.97	(1.56)	↘	➡	↓	↑
3	突発性発しん	0.44	(0.41)	➡	↗	➡	↑↑
4	A群溶連菌咽頭炎	0.18	(0.03)	↗	➡	↑↑	↓
5	咽頭結膜熱	0.09	(0.26)	↓	↓	↘	➡

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**➡横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

## ◆ 県内概況 ◆

第34週の新型コロナウイルス新規感染者数は、1412名と前週の1156名から引き続き大きく増加しました。現在の感染状況を踏まえると、感染者の多くがデルタ株に感染していると考えられます。デルタ株は感染力が強いとされており、家庭内や職場で感染を広げる可能性があります。買い物や食事、レジャーなど、不要不急の大阪など都市部との往来は避け、仕事や学校に行くときでも、寄り道せずまっすぐ帰るようにしてください。また、ふだん同居していない人と、マスクをはずした状態での対面は避けるようにしましょう。

感染拡大を抑え、換気、環境や手指の消毒、人との距離の確保、マスクを着用するなど、感染の連鎖を断ち切るよう、基本的な予防対策の徹底をお願いします。

## ❖ 小児科外来情報 ❖

### 北部地区(田中小児科医院)

COVID-19 感染者が通常の外来診察でも見られるようになって来た。保育園では複数名陽性者あり。インフルエンザ感染動向の様な欠席情報があれば有難いですね。

RS 感染症、サルモネラ腸炎があった。

### 中部地区(岡本内科こどもクリニック)

小児の発熱例が増加しており緊迫、Covid19 陽性例は今のところなし。

感染性腸炎が増加、水様便例、家族内複数例もあり病原検索中。

例年の夏風邪等、その他の感染症は皆無に近い状況。

### 南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

RS ウイルス感染症が再び流行拡大してきた。乳幼児の入院も多い。退院後、再び高熱となる例もみられた。COVID-19 の小学生クラスターは重症例なく落ち着いた。

軽症呼吸器症状での受診者が増加、アレルギー性かの鑑別は困難、対症療法で改善している。

## ❖ L452R 変異株 PCR 検査(スクリーニング検査)の実施状況 ❖

検査実施週	L452R変異株 PCR検査数	L452R変異株 陽性者数	国立感染症研究所・県保健研究センター ゲノム解析結果 (判明数のみ)		
			デルタ株	デルタ株以外の変異株	解析不能
6月7日 ~ 8月15日	3 (N501Y変異株PCR検査)	-	3 ※	-	-
	756	313	14	0	0
8月16日 ~ 8月22日	341	278	16	0	0
8月23日 ~ 8月29日	309	275	0	0	0
計	1406	866	33	0	0

デルタ株: インドで最初に検出された変異株

※N501Y 変異株 PCR 検査を実施し、陰性であった3検体を国立感染症研究所へ送付しゲノム解析した結果、すべてデルタ株であるとの報告が6月21日ありました。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 3 年 第 34 週 8 月 23 日 ~ 29 日

保健所別報告数	奈良県	北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野	
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4
インフルエンザ							
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2
RSウイルス感染症	67 (1.97)	22 (2.44)	26 (2.89)	12 (1.71)	3 (0.50)		4 (2.00)
咽頭結膜熱	3 (0.09)			3 (0.43)			
A群溶連菌咽頭炎	6 (0.18)	1 (0.11)	2 (0.22)	3 (0.43)			
感染性胃腸炎	94 (2.76)	20 (2.22)	10 (1.11)	22 (3.14)	38 (6.33)	3 (3.00)	1 (0.50)
水痘	3 (0.09)	1 (0.11)	2 (0.22)				
手足口病	1 (0.03)		1 (0.11)				
伝染性紅斑	1 (0.03)						1 (0.50)
突発性発しん	15 (0.44)	4 (0.44)	4 (0.44)	2 (0.29)	4 (0.67)		1 (0.50)
ヘルパンギーナ	3 (0.09)			2 (0.29)	1 (0.17)		
流行性耳下腺炎							
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0
急性出血性結膜炎							
流行性角結膜炎	1 (0.10)				1 (0.50)		
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1
細菌性髄膜炎	1 (0.17)			1 (1.00)			
無菌性髄膜炎							
マイコプラズマ肺炎							
クラミジア肺炎							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)							

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核1件(郡山1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症2件(奈良市1、中和1)
4類感染症	
5類感染症	アメーバ赤痢1件(郡山1) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(郡山1) 梅毒1件(奈良市1)

❖ 第34週のトピックス ❖

◆ 社会福祉施設コロナ感染対策「こんな時はどうする？」解説集(動画付き)  
(奈良県)

<http://www.pref.nara.jp/54673.htm>

◆ バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症  
(IASR Vol. 42 p155-156: 2021年8月号)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/vre-m/vre-iasrtpc/10589-498t.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。  
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数  
(下段) : 定点当たり報告数 報告数 ÷ 定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男女																						1
RSウイルス感染症	男女	1	5	18	7	4		1														36	1563
咽頭結膜熱	男女			3																		3	234
A群溶連菌咽頭炎	男女						2	3														5	224
感染性胃腸炎	男女		5	14	9	6	3	3	2		4	1	4		6							57	1747
水痘	男女		1	6	11	1		1	2	1			1		11							37	1487
手足口病	男女					1																1	44
伝染性紅斑	男女						1															1	5
突発性発しん	男女		2	4	2																	8	244
ヘルパンギーナ	男女			2	1					1												3	28
流行性耳下腺炎	男女																						24
急性出血性結膜炎	男女																						1
流行性角結膜炎	男女																					1	45
細菌性髄膜炎	男女																					1	24
無菌性髄膜炎	男女																					1	4
マイコプラズマ肺炎	男女																					1	4
クラミジア肺炎	男女																					1	3
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																						1
	男女																						2

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

